

大妻学院中期計画

1908年に創立者大妻コタカが裁縫・手芸の私塾を開いて以来、2018年に本学院は創立110周年を迎えました。この110周年に際して、本学院は、100周年時に策定した中期計画を引き継ぎ、新たに中期計画を策定することとしました。この10年間の社会情勢の変化を受けて、本学がおかれた新しい時代の文脈の中で、教育・研究の理念を再構築し、今後の本学院の展開の方向を定めることが必要であると判断したためです。

新しい中期計画の策定にあたっては、創立者大妻コタカの教育理念に改めて立ち戻り、教育機関の在り方を再確認することから始めました。大妻コタカは「女性の自立のための女子一貫教育」を建学の理念としましたが、その基本線は、豊かな教養と思いやりの心を持ち合わせた女性、かつ実技実学を身につけ、家庭あるいは職場においてチーム一丸となって取り組むことができる専門職業人たる女性を育成することにあります。この伝統を踏まえてさらに現代的な意義を研ぎ澄ませたものが今回の中期計画です。

大妻学院の使命

本学院の使命、教育目標を以下のとおり再規定しました。

1. 学び働き続ける自立自存の女性の育成

建学の精神を継承するとともに、常に時代の変化に適応し、「学び働き続ける女性」として社会のあらゆる分野に主体的に参画貢献できる自立した女性の育成を目指す。

2. 女子教育に積極的な役割を果たす教育・研究活動

人間生活文化活動の多方面に亘る真理考究において、積極的な役割を果たす研究業績を積み重ね、社会の負託に応えられるような教育・研究機関を目指す。

3. 持続可能な共生社会の実現への貢献

地域住民や国内外の企業及び行政機関あるいは教育機関等との協働活動に積極的に参画し、社会から信頼を受け、慕われ愛される存在として持続可能な共生を目指す。

教育目標

大学・短大

- 総合的な人間教育により社会の構成員としての自覚と識見を有する自立した人材を育成する
- 男女共同参画社会において、グローバルな視野を持ち中核的な指導的役割を果たすことができる専門的職業人女性を育成する
- 女子高等教育において、教育分野及び研究分野の女性後継者を育成する
- 地域・社会との連携において、指導的役割を果たせる女性を育成する

中高

- 人間性が豊かで自立可能な女性を育成するために、「恥を知れ」「らしくあれ」「良き社会人・良き家庭人たれ」の本学の伝統的な人間教育理念に基づいた中等教育を行う
- 社会に出て活躍できる有能な女性リーダーを育成するための中等教育を行う
- 知的好奇心を醸成し、グローバル化の進展に後れを取ることなく適応していくために、広い視野と深い洞察力を持った女性を育成するための中等教育を行う
- 自己管理能力を高め、互いに尊重しあえる女性を育成するための中等教育を行う

VISION OTSUMA 2028と5つの戦略ドメイン

本学のブランドを教育・研究の両面で刷新することを通じて、「女子高等教育機関としての存在意義を世から認められる女子大学でありたい」との思いを「VISION OTSUMA 2028」として表現しました。

VISION OTSUMA 2028

2028年度までに教育・研究面において女子大トップリーグの一角を占める位置へ

『VISION OTSUMA 2028』5つの戦略ドメイン

「教育と研究の大妻」へ一段のギア・アップ

- 教育の質保証の仕組みを定着
- 学修者本位の教育への転換
- 女性が生涯に亘って学び働き続けるためのスキル・能力の育成
- 研究環境、研究資金の投入などの環境整備
- 研究成果の地域・社会還元の拡充
- 研究活動を広報活動の中核に位置づけ
- 女性の学びのための研究を深めその成果を教育に展開

ブランド・イメージ刷新のための体制強化

- 教育・研究成果を社会に訴求するための広報の仕組みを策定
- ステークホルダーとの連携強化(受験生、保護者、地域・企業等)
- 卒業生への支援の強化

健全で安定的な財務基盤の構築

- 財政収支の改善
- 効率的かつ機動的な財政運営体制の構築

「強く明るく風通しの良い大妻」という組織風土の実現

- 教職員一人ひとりのスキル・能力の向上
- 教職員のモチベーションの維持
- 組織の創発的な活動とそれを支える組織内コミュニケーションの円滑化

大学・短大・中高の各部門の自立的発展と連携強化

- 大学・短大・中高それぞれが、「VISION OTSUMA 2028」の実現のために、自己のアイデンティティを維持しながら、継続的な教育・研究体制の見直し向上を進める
- 大学各学部は、それぞれの教育目標に沿った教育を展開し、良質な入学者の確保と実就職率の向上に努めるとともに、研究活動面では科研費採択件数の増加に取り組む
- 短大は大妻ならではの特色を打ち出し、他方で実就職率の引き上げ等の学生の現実的ニーズを満たす努力を続ける
- 中高は、それぞれが立地する地域特性に留意し、地元にも根ざし、地元から愛され支持される学校として存続発展していくために、創意工夫を凝らして入学者確保に全力を傾注するとともに、進学実績を高める事を最優先課題とする

『VISION OTSUMA 2028』を実現するための6つのプラン

中期計画を構成する6つのプランは次のとおりです。

プラン1 教育・研究活動の活性化のために
(教育／研究／学生支援)

1. 教育体制の充実、教育面における内部質保証
2. 学生支援体制の充実
3. 研究活動の活性化
4. 教育・研究・学生支援における組織の在り方の検討

プラン2 健全で強固な財務体制の確立について
(財務／インフラ)

1. 学院財務計画の策定
2. 支出抑制策の実行
3. 長期修繕計画の策定と支出総額の抑制
4. 情報システム投資の適正化
5. 学生生徒等納付金以外の収入の確保
6. 健全な財務運営を可能とする予算制度の構築
7. 予算面からの教育活動支援の強化

プラン3 社会的評価の一層の向上を目指して
(入試／広報／就職支援／地域連携)

1. 入試体制の整備
2. 広報体制の整備
3. 卒業生連携体制の確立・強化
4. 就職支援体制の確立

プラン4 戦略を意識した活動と働きがいのある職場構築について
(人事／ガバナンス／組織)

1. ガバナンス体制の強化
2. 教職員の人材育成
3. 人事マネジメント政策の確立
4. 働きがいのある職場の実現

プラン5 多摩キャンパスの活性化について

1. 教育の質の向上
2. 地域連携・地域貢献
3. 学生サービスの向上
4. 物理的環境の改善
5. 多摩中高と大学の連携

プラン6 4中高の今後の存続・発展戦略について

大妻中高

1. 入試改革
2. 教育力の向上
3. 進路指導力・進路実績の向上
4. 高大連携の強化

大妻多摩中高

1. 入試対策
2. 進路指導の強化
3. 学内改革
4. TSUMATAMA SGLの実践

大妻中野中高

1. 信頼される教育力の向上
2. 未来社会に対応した教育方法の確立
3. 働き方改革の推進

大妻嵐山中高

1. 2030年を見据えた大妻嵐山グローバル・エコサイエンス・スクール教育の展開
2. 広報戦略の強化
3. 生徒指導の充実
4. 学力向上

中期計画の実効性の確保

中期計画を前進させるためには、その実効性を担保する仕組みや工夫が必要となります。今回の中期計画においては、その実効性を確保するために次の施策を講じています。また、6つのプランをさらに141のアクションプランに細分化し、実効性を高めます。

1. アクションプランの策定

- ・スケジュールの明記
- ・責任者や推進部門の設定
- ・数値目標の記載

2. アクションプランへの共感・周知徹底

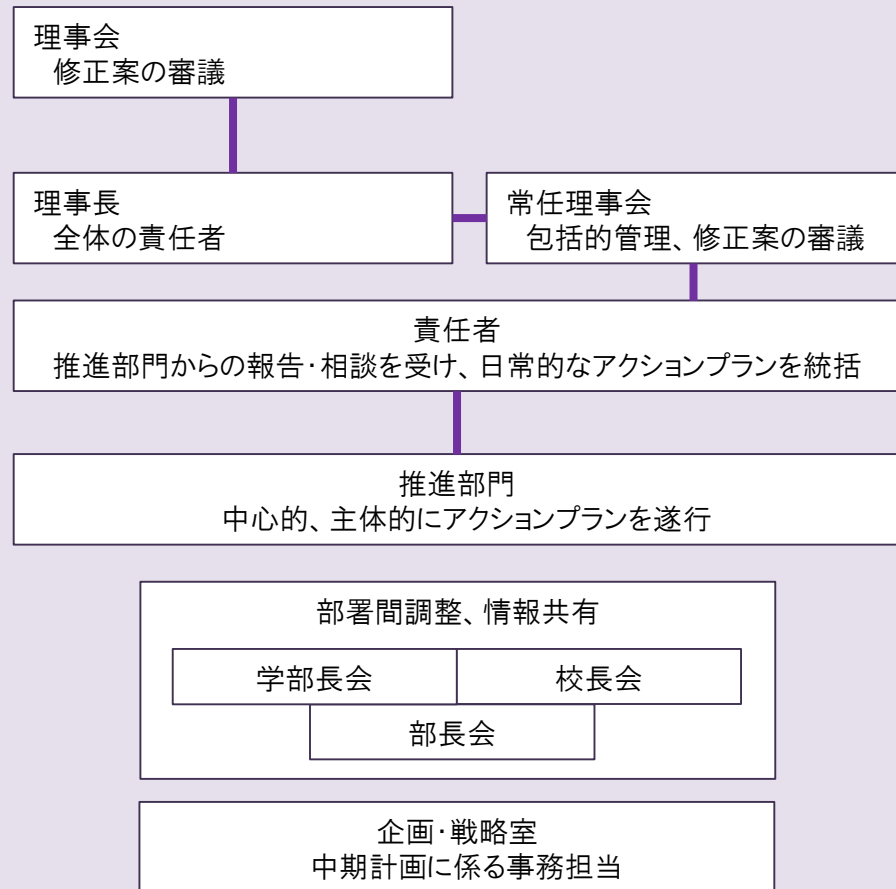
- ・多数の教職員による原案の作成
- ・パブリックコメントの実施
- ・中期計画説明会の実施

3. 進捗管理

- ・中期計画の包括的管理と報告の仕組みを構築
- ・部署間調整、情報共有のため部長会等を活用
- ・中期計画の修正

4. 各責任者・推進部門の役割

- ・責任者の役割
推進部門からの報告・相談を受け、日常的なアクションプランの推進を統括
- ・推進部門の役割
中心的、主体的にアクションプラン遂行の任を負う
他部署との協働により、より適切な実行が可能と思われるアクションプランについては適宜関連部署と連携して遂行する
- ・アクションプランについては毎年度の具体的な計画を策定する際に内容等の改変を検討できるものとする



今後の実行過程では、環境変化や個別の現場の実情など、新たな課題が現れてくる事が予想されますが、教職員皆が話し合い協力し合うことで乗り越えていきたいと考えています。